

週間市場レポート (2021年8月2日~8月6日)

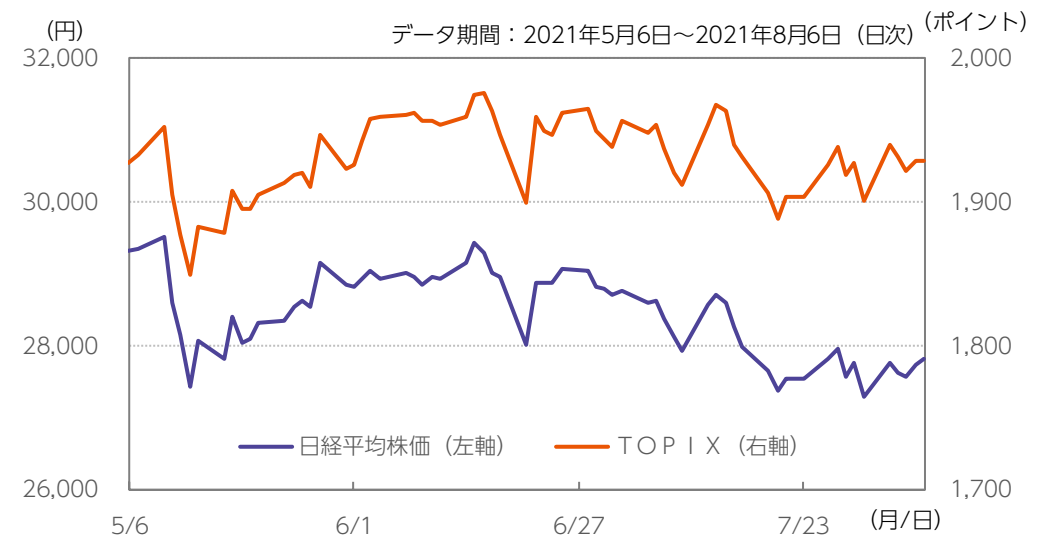
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/7/30	先週末 2021/8/6	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		27,283.59	27,820.04	1.97 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,901.08	1,929.34	1.49 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		34,935.47	35,208.51	0.78 ↗
S & P500種指数		4,395.26	4,436.52	0.94 ↗
ナスダック総合指数		14,672.68	14,835.76	1.11 ↗
ユーロ・ストックス50指数		4,089.30	4,174.54	2.08 ↗
S & P/ASX300指数		7,386.45	7,531.47	1.96 ↗
上海総合指数		3,397.36	3,458.23	1.79 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)*		999.79	1,011.13	1.13 ↗
東証REIT指数		2,160.33	2,151.28	▲0.42 ↘
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		889.99	893.40	0.38 ↗
ASX300 REIT 指数		1,560.80	1,601.00	2.58 ↗
グローバルREIT (除く日本)*		209.74	211.22	0.71 ↗
日本10年国債 (%)		0.022	0.015	▲0.007 ↘
米国10年国債 (%)		1.222	1.297	0.075 ↗
ドイツ10年国債 (%)		▲0.461	▲0.456	0.005 ↗
英国10年国債 (%)		0.565	0.611	0.046 ↗
ドル/円		109.72	110.25	0.48 ↗
ユーロ/円		130.23	129.70	▲0.41 ↘
英ポンド/円		152.59	152.95	0.24 ↗
豪ドル/円		80.56	81.08	0.65 ↗
フィラデルフィア半導体指数		3,356.53	3,412.05	1.65 ↗
WTI原油先物 (ドル)		73.95	68.28	▲7.67 ↘
CRB指数		218.08	214.49	▲1.65 ↘

2) 日本の株式・債券市場

◀ 株式 ▶

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。前週の大幅下落反動から、週初は、自律反発狙いと好決算を期待した買いが入り、大幅上昇しました。週末に米雇用統計の公表を控え様子見ムードが高まる中、国内における新型コロナウイルスの新規感染者数の急増で下落する場面もあったものの、週末は、前日の米国株式市場で主要3指数が揃って史上最高値を更新したことが好感され上昇しました。



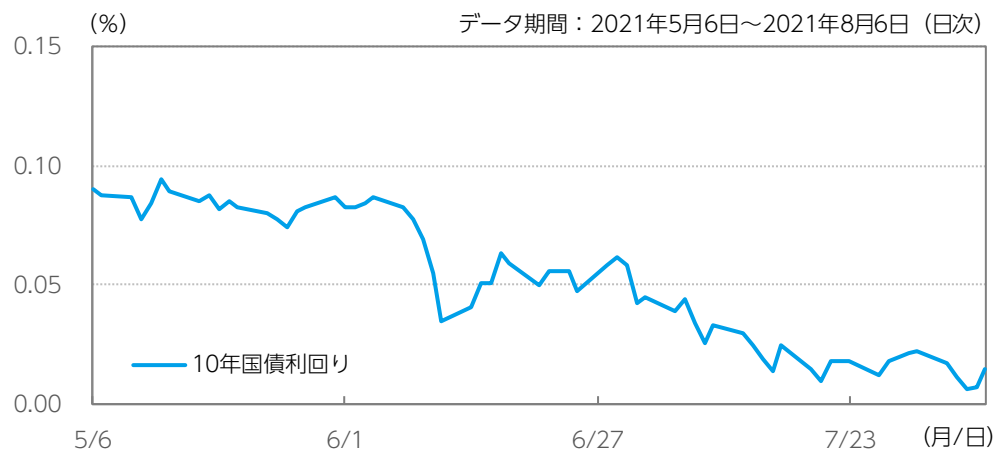
出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

※現地通貨ベース *1 ▲はマイナスを表します。 *2 7月23日の日本市場は休場のため、7月21日の終値を掲載しています。

≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。

新型コロナウイルスの感染拡大や緊急事態宣言の対象地域の拡大で景気回復が遅れるとの懸念から、安全資産とされる債券には買いが優勢となったものの（利回りは低下）、週末にかけて米長期金利が上昇した流れを受け、国内金利も上昇し（価格は下落）、週間ではほぼ横ばいとなりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。

デルタ型による感染拡大への警戒感は根強く、下落する場面もあったものの、好決算銘柄を物色した買いが進んだことや、経済活動が正常化する流れは続くとの期待から景気敏感株を中心に買われました。週末は市場予想を上回る雇用統計の結果が好感され、NYダウの終値は史上最高値を更新しました。

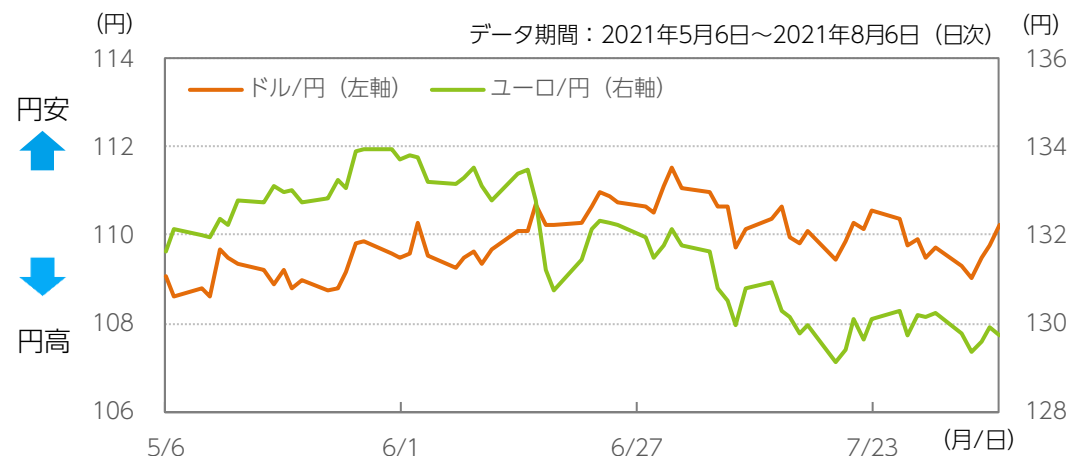


出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で横ばいとなりました。

デルタ型による感染拡大で、低リスク通貨とされる円は買いが優勢となる一方、週末にかけて経済活動の正常化期待から米長期金利が上昇すると、日米金利差を意識した円売り米ドル買いが優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、デルタ型による感染拡大への警戒感が強まったものの、好決算銘柄の物色買いが進み、堅調に推移しました。

6日（金）に公表された7月の米国の非農業部門雇用者数は、市場予想を上回る前月比94.3万人増となりました。全米のうち26州が失業保険上乗せ給付の早期打ち切りを順次表明し、求職者数が増加傾向にあります。感染拡大により求職活動のペースが鈍るとの懸念があるものの、給付期限となる9月6日以降、100万人規模の求職者数の増加が見込まれており、人材確保に苦戦してきたサービス業を中心に人手不足が解消に向かうものと思われます。

今週も国内企業の決算発表が続くため、決算内容と業績見通しを見極めながら、好決算銘柄を物色する流れが継続しそうです。ただし、国内の感染拡大で、緊急事態宣言やまん延防止措置の対象地域がさらに拡大されることとなれば、景気回復の遅れが意識され上値は重くなるものと見られます。米国株式市場は、11日（水）公表の消費者物価指数が大幅上昇とならなければ、経済活動正常化への期待から、上昇基調を強めるものと予想します。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>